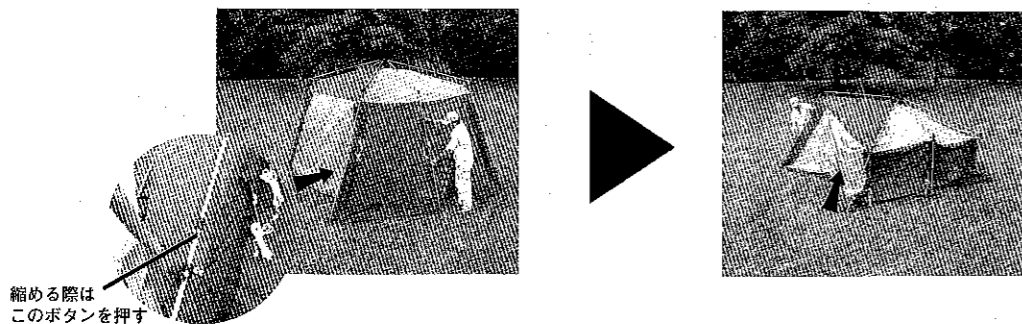
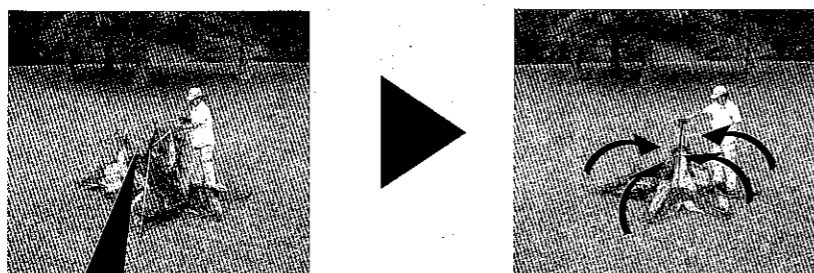


撤収手順

STEP 1 テントを固定したペグをすべて外し、各フレームに付いたボタンを押してフレーム6本を縮めます。



STEP 2 ルーフフレームの手前2箇所をしっかりと持ち、内側に力を加えると、フレームが折りたたまれます。各ポールを折りたたみ、キャリーバッグに入れて撤収完了です。



注意

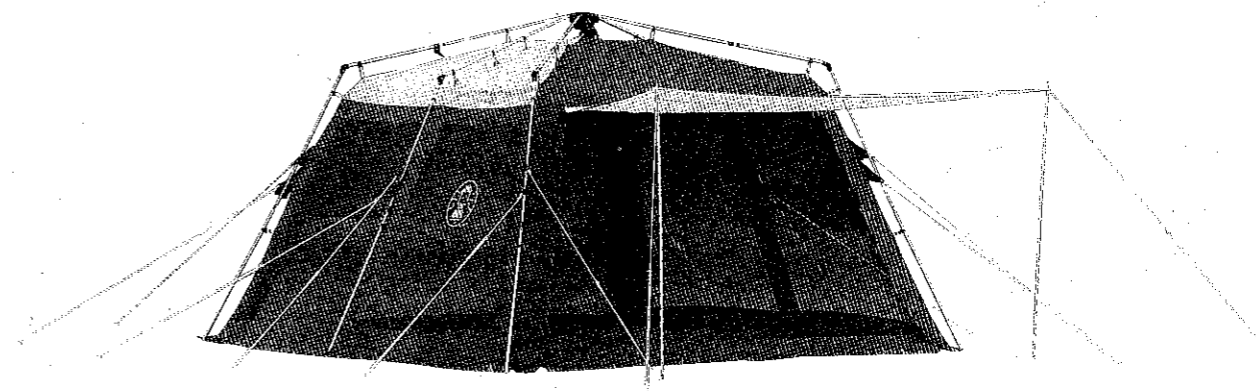
フレームの間に指や手を挟まないように十分注意してください。挟まれるとケガをすることがあります。

中心部から離れたこの2箇所をしっかりと持つ

Swift Pitch Screen /360

〔スウィフトピッチスクリーン /360〕

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保存してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。タープ・スクリーンタープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、タープ・スクリーンタープを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

コールマンジャパン株式会社

お問い合わせフリーコール
 コールマンカスタマーサービス：0120-111-957
 受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

組立・使用上の注意及び禁止事項

⊗ 危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

⚠ 注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

⚠ 注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

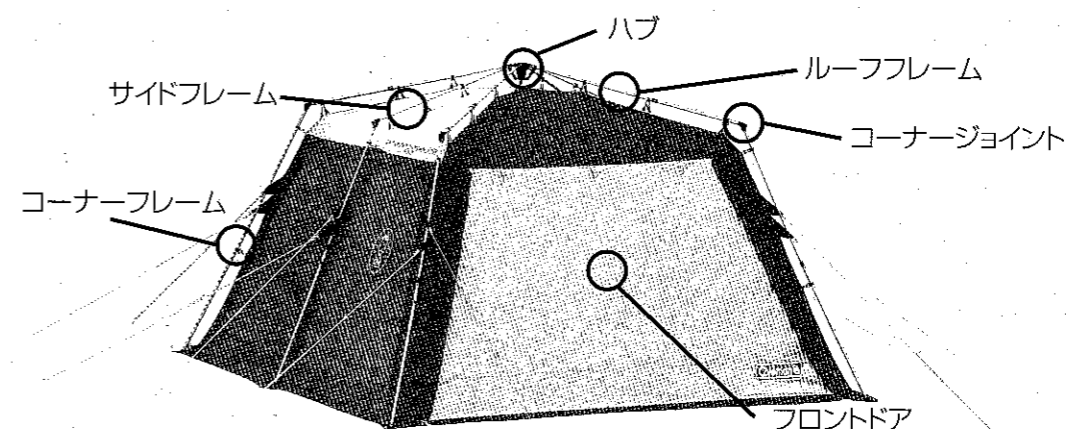
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

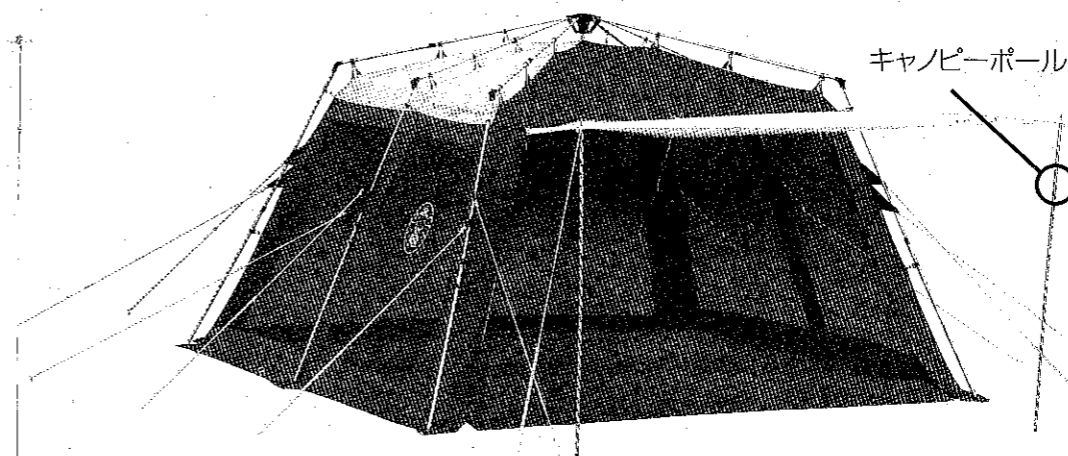
セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

| | | | |
|--------------|-----|-----------|-----|
| ●本体（フレーム装着済） | 1張 | ●スチールピンペグ | 24本 |
| ●自在ロープ | 14本 | ●ハンマー | 1ヶ |
| ●キャンピーポール | 2本 | | |

設置時（フルクローズ）

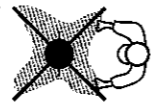
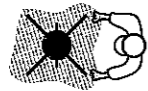
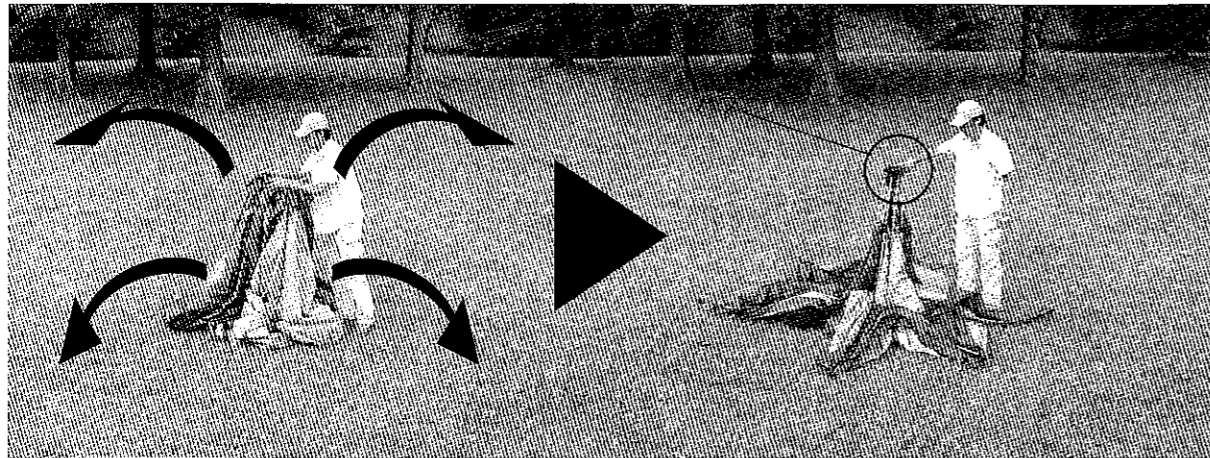


キャンピー使用时

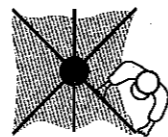
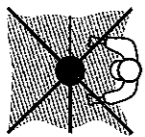
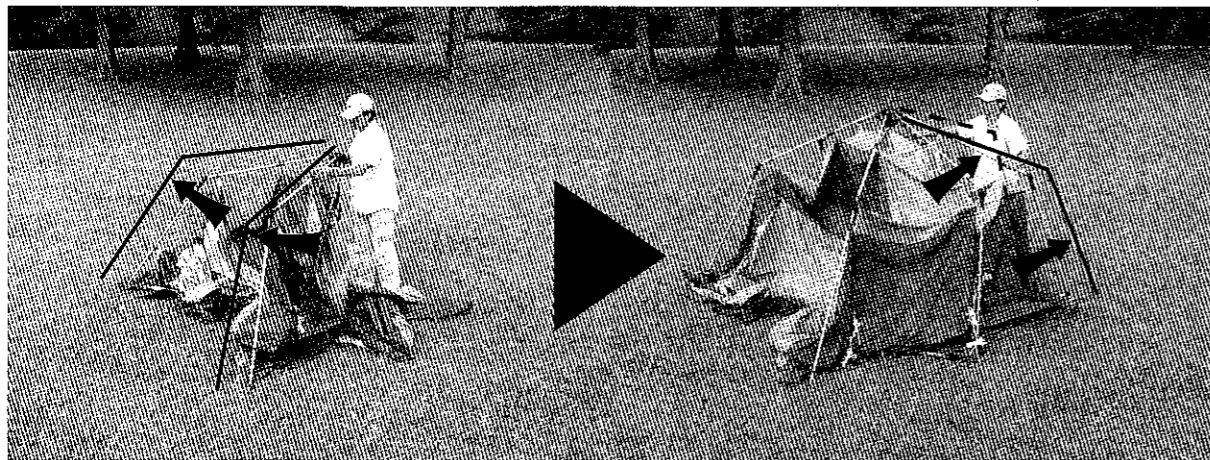


設営手順

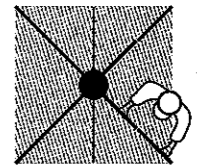
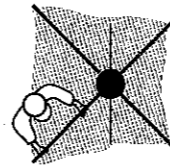
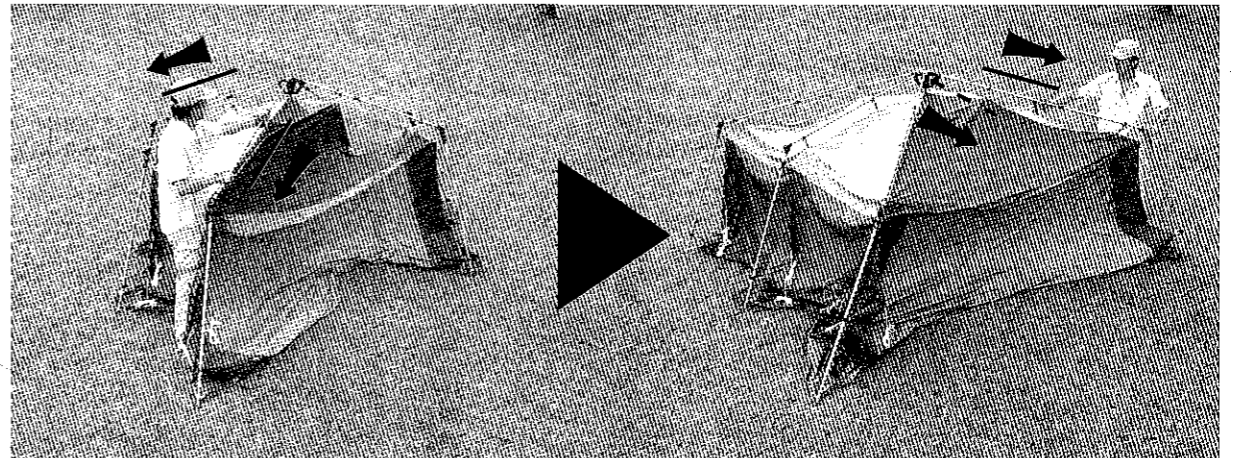
STEP 1 本体をケースから出し、ハブを中心にしてルーフフレームを持ち上げるようにして、コーナーフレームを広げます。



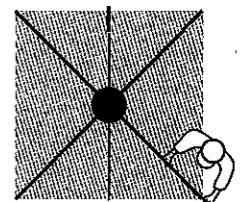
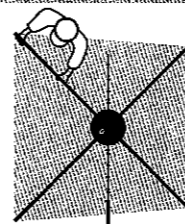
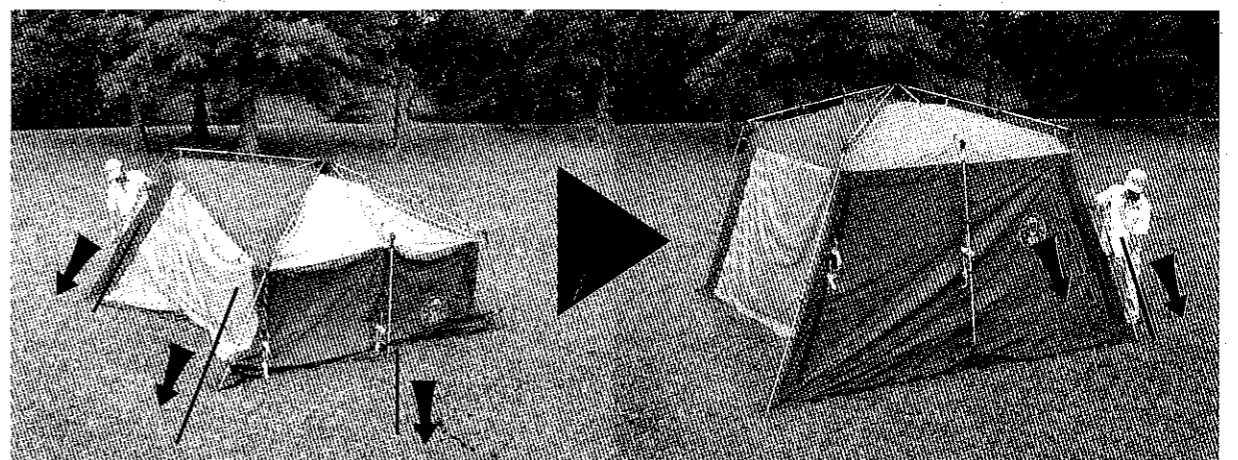
STEP 2 ルーフフレームを、まず自分から遠い3本、次に近い3本の順に広げます。



STEP 3 ルーフのコーナーポール4本を伸ばし、ルーフ部分を完成させます。

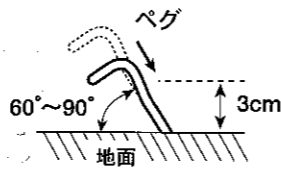
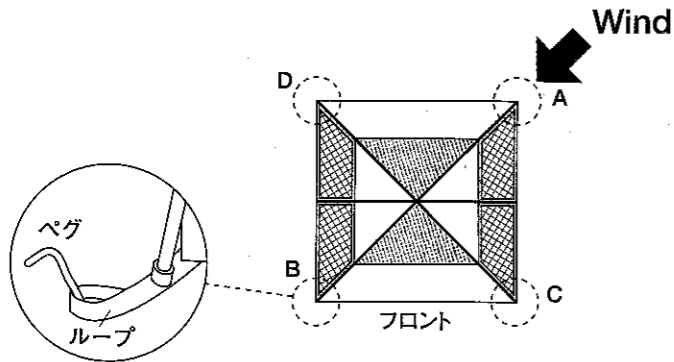


STEP 4 各フレームをしっかりと伸ばし、ドームを立ち上げます。



STEP 5

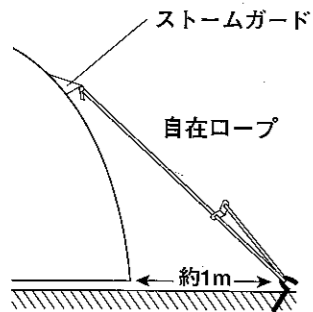
設営位置を決め、図のように4ヶ所のループを風上より順に(A~D)対角線にペグ打ちしてタープを固定してください。



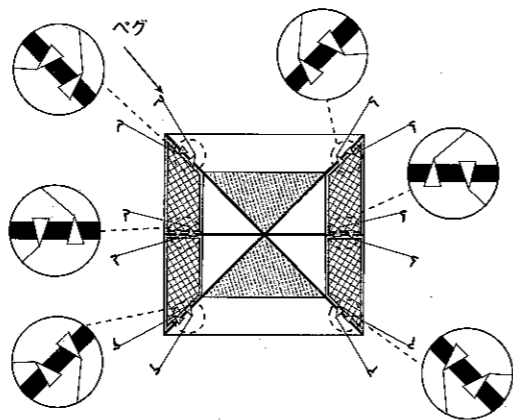
ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

STEP 6

ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、スクリーンタープの安定性を高めます。両側面及び各コーナーのストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。



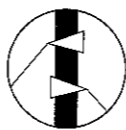
上・左図の要領にて12カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

! 注意

大きなサイズのドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご利用ください。

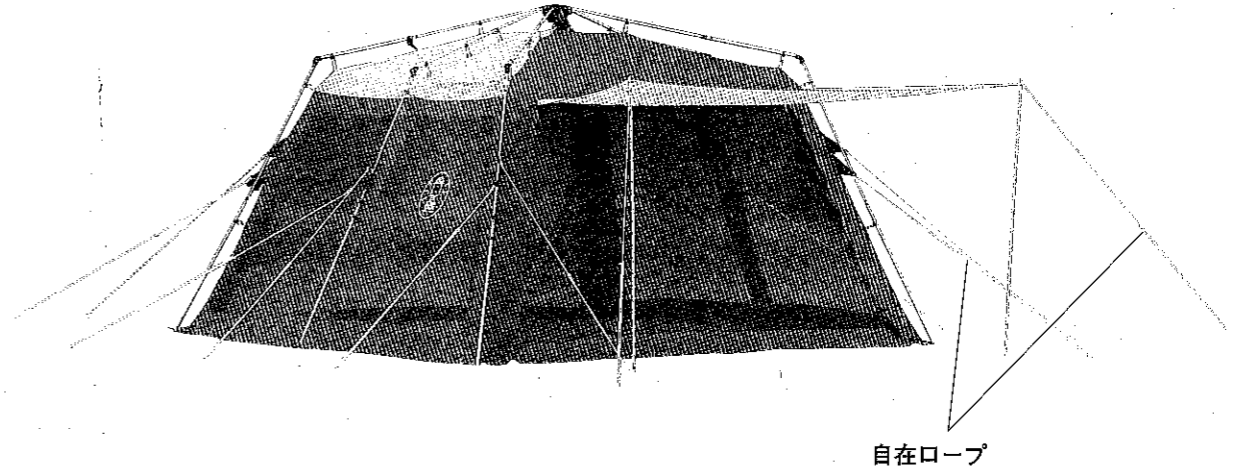
デュアルストームガード

本製品は、1本のポールに対してロープを交差するように固定するデュアルストームガードの採用で、安定性をさらに高めています。



STEP 7

前室をキャンピーとして活用する時は、付属のキャンピー用ポール(グリーン)を使います。



! 注意

風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れる恐れがあります。